

# 注意していただきたいこと

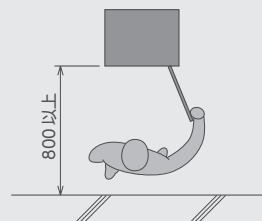
## 郵便受箱

- 取り出しのスペースを充分にとってください。

正面から扉の開閉操作が充分に行える場所へ設置してください。側面や片手でしか操作できない場所には設置しないでください。扉に挟まれたり、擦過傷を負うなど危険です。

- 危険な高さに設置しないでください。

製品の扉や下部に頭が当たったり、製品につまづくような場所や高さに設置しないでください。



- 扉の開閉音が壁を伝わり騒音になる場合があります。出来るだけ居室から離れた場所へご設置ください。

- 壁付・壁埋込み以外の方法で取り付けしないでください。

製品の裏面が露出する取付け（ポールや棚への取付け等）をすると裏板でケガをする場合があります。また、取付強度も不足し、危険です。指定以外の方法で取り付ける場合は、設置場所の強度に充分留意する必要があります。本体のみでは十分な取付強度は得られませんのでご注意ください。ユニットタイプ付属の取付ビス・アンカーはコンクリート壁への集合取付用です。コンクリート壁以外や1台または1段で取り付ける場合は別途、補強が必要です。



- 完全な防水性能はありません。(屋外/防雨タイプ)

強い風雨や郵便物の投入が不完全な場合に雨水が浸入します。できるだけ雨がかりの少ない軒下等の場所に設置してください。

- 本体に「ねじれ」が生じると扉や錠前の故障の原因となりますので、注意して取り付けてください。

- 内・外装工事がある場合は製品に養生を施してください。

特にタイルの洗浄液や工事による鉄の削屑が付着しないようにご注意ください。

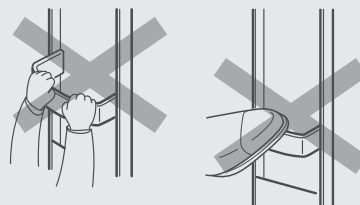
製品の取り付け、据え付け後、内・外装工事を行う場合は、製品の養生を必ず行ってください。工事によるチリ・ホコリ・洗浄液等が錠前に影響を与え作動異常をおこしたり、ステンレスに付着したままにしておくと、もらいさびをおこします。

## マンションプレートシステム

- ▲ 注意 ぶら下がったり、足を掛けしないでください

新聞受けを他の用途にご使用にならないでください。

特にホルダーにぶら下がったり、足を掛けたり、重量物を下げたり、ロープなどをかけたりすると破損することがあり、大変危険です。



- 新聞をつめ込みすぎたり、長期間放置したりしないでください

